

セレコキシブ錠 100mg 「三笠」

セレコキシブ錠 200mg 「三笠」

【この薬は？】

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」 Celecoxib tablets 100mg 「MIKASA」	セレコキシブ錠 200mg 「三笠」 Celecoxib tablets 200mg 「MIKASA」
一般名	セレコキシブ Celecoxib	
含有量 (1錠中)	100mg	200mg

患者向け医薬品ガイドについて

患者向け医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safty/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が記載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、非ステロイド性消炎・鎮痛剤（NSAID）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の生成をおさえ、消炎・鎮痛効果をあらわします。
- ・この薬は次の目的で処方されます。

下記疾患並びに症状の消炎・鎮痛

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎
手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られないことがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○外国において、重篤で場合によっては死に至る心筋梗塞、脳卒中などの危険性を増大させる可能性があり、これらの危険性は使用期間とともに増大する可能性があることが報告されています。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】、**副作用は？**に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にセレコキシブ錠「三笠」に含まれる成分またはスルホンアミド（スルホニルウレア系経口血糖降下剤など）で過敏な反応を経験したことのある人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性消炎・鎮痛剤などにより誘発される喘息発作）のある人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・重篤な心機能不全のある人
- ・冠動脈バイパス再建術の周術期（術前、術中、術後）の人
- ・妊娠末期の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心血管系に障害のある人、または過去に心血管系に障害があった人
- ・心臓に障害のある人
- ・高血圧症の人
- ・過去に消化性潰瘍のあった人
- ・非ステロイド性消炎・鎮痛剤を長期間使用したことによる消化性潰瘍のある人で、この薬を長期に使用する必要があり、かつミソプロストールによる治療を受けている人
- ・気管支喘息のある人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔関節リウマチの場合〕

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」	セレコキシブ錠 200mg 「三笠」
1 回量	1～2 錠	半～1 錠
飲む回数	1 日 2 回朝・夕食後	

〔変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎の場合〕

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」	セレコキシブ錠 200mg 「三笠」
1 回量	1 錠	半錠
飲む回数	1 日 2 回朝・夕食後	

〔手術後、外傷後並びに抜歯後の消炎・鎮痛〕

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」		セレコキシブ錠 200mg 「三笠」	
1 回量	初回のみ	4 錠	初回のみ	2 錠
	2 回目以降	2 錠	2 回目以降	1 錠
飲む回数	〔毎日服用の場合〕 1 日 2 回 6 時間以上の間隔をあけて飲んでください。			
	〔頓用の場合〕 医師の指示どおりに飲んでください。 1 日 2 回まで 6 時間以上の間隔をあけて飲んでください。			

● **どのように飲むか？**

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

● **飲み忘れた場合の対応**

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

● **多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用により、重篤で場合によっては死に至る心筋梗塞（息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、冷や汗）、脳卒中（手足のまひ・しびれ、片側のまひ、しゃべりにくい）などがあらわれることがあるので、これらの自覚症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬の使用により、中毒性表皮壊死融解症（TEN（テン）：全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、関節の痛み）、皮膚粘膜眼症候群（スティーブンスジョンソン症候群：唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血）などの重篤で場合によっては死に至る皮膚症状があらわれることがあります。多くの場合この薬を使用開始してから 1 ヶ月以内にあらわれるので、使用開始初期には特に注意してください。
- ・関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群、腱・腱鞘炎の方がこの薬を使用中には、定期的または必要に応じて、尿検査、血液検査、腎機能検査、肝機能検査、心電図検査、便潜血検査などが行われます。
- ・この薬は炎症症状や痛みをやわらげますが、炎症などの原因を取り除いてその病気そのものを完治させる薬ではありません。

- ・この薬は微生物感染による炎症症状をおさえるため、感染症の症状を把握できにくくすることがあります。
- ・この薬を使用中にめまいや傾眠（ぼんやりする）などがあらわれることがありますので、自動車の運転など危険を伴う作業をするときには十分注意してください。
- ・この薬を2～4週間使用しても効果が認められない場合は、他の治療薬が選択されます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	めまい、冷や汗、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、からだのだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	胃もたれ、胸やけ、背中痛み
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、嘔吐（おうと）
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、激しい腹痛、嘔吐（おうと）
心筋梗塞 しんきんこうそく	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、冷や汗
脳卒中 のうそっちゅう	手足のまひ・しびれ、片側のまひ、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐（おうと）、頭痛、考えがまとまらない、判断力の低下、意識の低下、意識を失って深く眠りこむ、半身不随
心不全 しんふぜん	横になるより座っている時に呼吸が楽になる、息苦しい、息切れ、全身のむくみ、からだのだるい、動く時の動悸（どうき）
うっ血性心不全 うけつせいしんふぜん	からだのだるい、吐き気、息苦しい、動く時の息切れ、全身のむくみ
肝不全 かんふぜん	吐き気、嘔吐（おうと）、羽ばたくような手のふるえ、食欲不振

肝炎 かんえん	嘔吐（おうと）、からだがだるい、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、吐き気
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、嘔吐（おうと）、白目が黄色くなる、尿の色が濃くなる、吐き気、食欲不振、かゆみ、からだのだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、鼻血、動悸（どうき）、息切れ、あおあざができる、めまい、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、動悸（どうき）、耳鳴り、鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あおあざができる、息切れ
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	意識の低下、眼がはれぼったい、疲れやすい、尿量が減る、尿がでない、頭痛、からだのだるい、息苦しい、からだのむくみ
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	頭痛、膨れあがる感じ、関節の痛み、血尿、発熱
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシックエピダーマルネクロライシス : テン)	からだのだるい、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、関節の痛み、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンスジョンソンしょうこうぐん)	高熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、発熱、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、まぶたや眼の充血、食欲不振、からだのだるい、結膜のただれ
多形紅斑 たけいこうはん	発疹やみずぶくれができる、関節の痛み、発熱
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	からだのだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食欲不振
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	かさぶた、全身の発赤、発熱、皮膚がはがれおちる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ


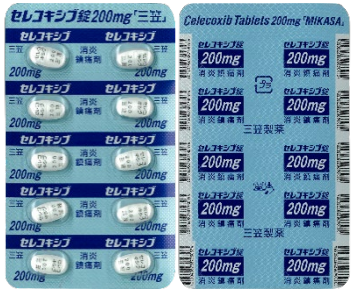
以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだのだるい、ふらつき、冷や汗、全身のむくみ、からだのむくみ、発熱、高熱、疲れやすい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、片側のまひ

頭部	めまい、頭痛、考えがまとまらない、意識の低下、意識がうすれる
顔面	ほてり、鼻血、血の気が引く
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる、眼がはれぼったい、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
耳	耳鳴り
口や喉	しゃがれ声、しゃべりにくい、眼と口唇のまわりのはれ、血を吐く、歯ぐきの出血、嘔吐（おうと）、吐き気、のどの痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、から咳
胸部	動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、胸やけ、吐き気、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、横になるより座っている時に呼吸が楽になる、動く時の動悸（どうき）、動く時の息切れ、階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ
腹部	胃もたれ、食欲不振、吐き気、腹痛、激しい腹痛、膨れあがる感じ
背中	背中痛み
手・足	羽ばたくような手のふるえ、関節の痛み、手足のまひ・しびれ、片側のまひ、半身不随
皮膚	じんましん、皮膚が黄色くなる、かゆみ、あおあざができる、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、発疹やみずぶくれができる、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、かさぶた、全身の発赤、皮膚がはがれおちる
便	血が混ざった便、黒色便
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる、血尿、尿量が減る、尿がでない
その他	判断力の低下、意識を失って深く眠りこむ、出血が止まりにくい、出血しやすい、陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」	セレコキシブ錠 200mg 「三笠」
色	白色	白色
形状	素錠 	素錠 
径	直径 8.0mm	長径 13.0mm 短径 6.5mm

厚さ	2.8mm	5.2mm
重さ	180mg	360mg
識別コード	セレコキシブ 100 三笠	セレコキシブ 200 三笠
PTP シート		

【この薬に含まれているのは？】

販売名	セレコキシブ錠 100mg 「三笠」	セレコキシブ錠 200mg 「三笠」
有効成分	セレコキシブ	
添加物	乳糖水和物、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース、ラウリル硫酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子どもの手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：三笠製薬株式会社 (<https://www.mikasaseiyaku.co.jp/wp/contact>)

お客様相談室

電話（フリーダイヤル）：0120-652-303

受付時間：9：00～17：30（土日、祝日、会社休日を除く）